



海上安全だより

海難“0”を目指して！！

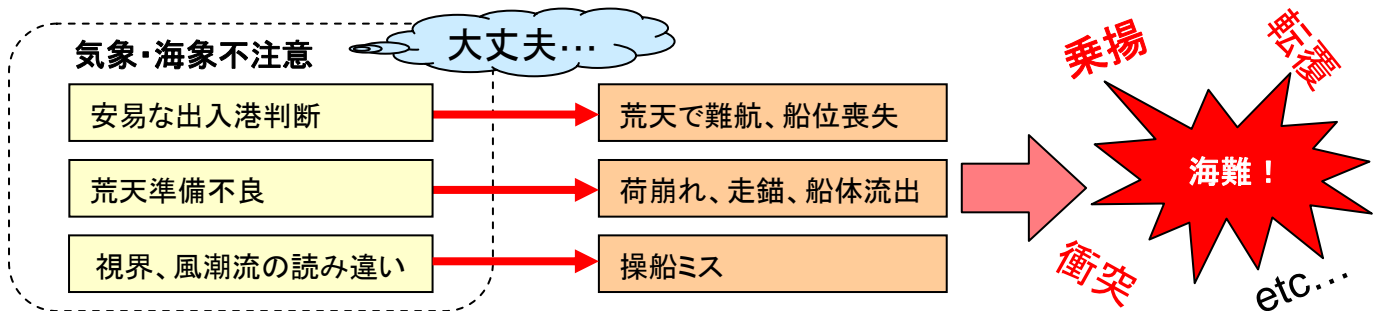
第一管区海上保安本部
交通部
TEL 0134-27-0118
(内線:2615、2623)
平成24年2月 No. 31

原因から見る海難その1「気象・海象不注意」

今回から海難の原因として多く見られる5つの要因「気象・海象不注意」「整備不良(船体)」「操船不適切」「見張不十分」「整備不良(機関)」を挙げ、それぞれの具体例や、防止するための注意事項を5回に分けて掲載します。

第1回目は「気象・海象不注意」です。

これは、気象・海象の判断ミスや天気予報などの気象情報を確認していないことを表します。

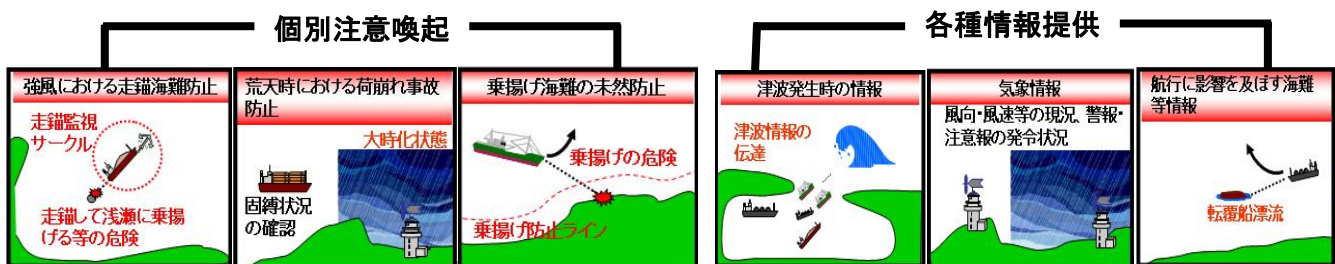


- ◆ 昨年北海道周辺で発生した130隻の海難のうち20隻(約15%)が、「気象・海象不注意」が原因の一つ
- ◆ 上記20隻のうち14隻(70%)には経験年数10年以上のベテラン操船者が乗船
- ◆ 中には天候が悪い中、無理に出港して遭難したと思われるものも
- ◆ 積雪の多い季節には、係留中の船舶が雪の重みで転覆することも

最新の気象情報入手、慎重な出入港判断、保船留意、航行中荒天になった場合は安全な場所への避難、僚船と連絡を取り合うことなどが大切です。

AISを活用した航行援助システム

海上保安庁が運用するAISを活用した航行支援システムとは、第一管区においては小樽船舶通航信号所が、北海道周辺の沿岸海域を航行するAIS搭載船舶の船名、船の長さ、位置、速力、仕向け港、到着予定時刻等の航海関連情報をリアルタイムに把握し、必要に応じて乗揚げや送錨等のおそれについて注意喚起を行うとともに、海難情報や気象・海象情報等の各種航行安全情報を提供することにより、海難の未然防止を図るシステムです。



AISの目的地や喫水等を正しく入力していない船舶は、他の船舶へ誤解を与え、衝突等を誘発するおそれが生じるほか、小樽船舶通航信号所からの適切な指導・助言や情報提供等を受けられなくなるおそれが生じますので情報は漏れなく正確に入力してください。

1月の海難隻数及び海難による死者・行方不明者数(速報値)
7隻、1名